

この「広報ひこね」は42,050部作成し、1部当たりの単価は14円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

一彦根城再発見一

400年目の出会い

第20回 金亀会館(藩校弘道館の講堂)

江戸時代、とくにその後半になると、藩士の文武奨励のため、各藩とも藩校設立の気運が高まり、各地で藩校が建設されました。彦根藩においても、寛政6年(1794)に、11代藩主井伊直中なほなかの下で藩校設立が決議され、同9年に城下第二郭西端の地(現在の彦根西中学校運動場あたり)に起工、同11年には藩校「稽古館」として開校しました。

開校から31年を経た天保元年(1830)、12代藩主直亮なおは、藩校の名称を「弘道館」に改めるとともに、洋学を講義に取り込むなど、藩校の改革を行います。その後、明治4年(1871)の廃藩置県によって廃止されるまで、弘道館教育は多大な成果をあげました。この間、儒学者の龍草廬りゅうそうろうや中川祿郎なかつらろう、国学者の長野義言ながのよしかんなど優れた教授陣も輩出しています。

現在の中央町にある金亀会館は、本堂とその背後の書院から成っていますが、本堂は、藩校弘道館の講堂を、大正12年(1923)に当地に移築したものです。移築後は、西本願寺の教堂として使用されてきました。

教堂の平面は、中央に柱間2間×3間の「本堂」、その四周に「庇」、そして建物前後に設けられた「孫庇ひさし」からなり、正面中央には切妻屋根の玄関が付けられています。玄関を入った正面の孫庇中央は、一段高く仏間となっていますが、藩校時代には儒教の祖である孔子が祭られていた可能性が考えられます。

金亀会館は、彦根藩校で唯一現存する建物として貴重であり、今年1月25日付けで彦根市指定文化財となりました。



▲現在の金亀会館(中央町)

人口と世帯数

平成19年9月1日現在

人口	111,253人	(+ 68)
男	54,717人	(+ 35)
女	56,536人	(+ 33)
世帯数	42,004世帯	(+ 40)

()内は前月との比較

第55回
小江戸彦根の城まつり

彦根いい秋散策プラン「ぶらりなっとくガイドブック」

期間 10月1日(月)~11月25日(日)

ガイドブックを持っていると、市内106か所で、「観る」「食べる」「買う」「泊まる」がお得になったり、スタンプラリーを楽しんだりすることができます。スタンプラリー走破者には「ひこにゃんクリップ」を差し上げます。

ガイドブック配布場所 彦根市観光案内所(彦根駅前)、(社)彦根観光協会事務所、彦根城表門事務所、彦根商工会議所、夢京橋あかり館、ひこね街なかプラザ、園観光課(市役所3階)、支所・各出張所

彦根大菊花展

期間 10月15日(月)~11月16日(金)

場所 護国神社境内(尾末町)



稚児行列、奉告祭

日時 10月28日(日) 9:30~10:40

場所 いろは松~金亀児童公園(井伊直弼公銅像前)

小江戸彦根のにぎわい市

今年は場所が変わります。ご注意ください

日時 11月1日(木)~同4日(日)

10:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所 ひこね市文化プラザ(野瀬町)

フリーマーケット(彦根の味覚、リサイクル品、手作り品、模擬店など)

姉妹城・親善都市 高松・水戸・彦根
3市の観光と物産展

今年は場所が変わります。ご注意ください

日時 11月1日(木)~同4日(日)

10:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所 ひこね市文化プラザ(野瀬町)

顕彰式

日時 11月3日(土・祝) 10:30~

場所 彦根駅前(井伊直政公銅像前)

小江戸彦根の城まつりパレード

日時 11月3日(土・祝) 13:00~15:00

場所 彦根城周辺

子どもたちによる大名行列や風俗行列、井伊の赤鬼家臣団列などがご城下を練り歩きます。



問い合わせ先 小江戸彦根の城まつり実行委員会(社)彦根観光協会 ☎23-0001、FAX26-1919、彦根商工会議所 ☎22-4551、FAX26-2730、園観光課 ☎30-6120、FAX22-1398)